

# 歯科医師の勤務実態等の調査研究

平成30年

厚生労働科学特別研究

「歯科医師の勤務実態等の調査」研究班

厚生労働省医政局

# 「歯科医師の勤務実態等の調査研究」の概要

## 目的

歯科の特性を考慮した上で、歯科医師調査と医療施設を行い、歯科医師の勤務実態を把握するためのタイムスタディ、他職種との連携や今後のキャリアパス、将来の勤務地や業務内容に関する意向等を把握し、歯科医師の勤務実態を明らかにする。

## 研究班

○三浦 宏子	国立保健医療科学院 国際協力研究部 部長
尾崎 哲則	日本大学 歯学部 教授
井田 有亮	東京大学大学院 医学系研究科 特任講師
児玉 知子	国立保健医療科学院 国際協力研究部 上席主任研究官

○研究代表者

## 調査内容

- ①年齢、性別、勤続年数、勤続地、専門領域等の基本属性
- ②勤務実態を詳細に把握するためのタイムスタディに関する項目
- ③他職種との役割分担・連携体制やキャリアパスに関する項目 等

## 調査対象

全国の医療施設及び当該医療施設に勤務する歯科医師を調査対象とする。  
病院歯科・歯科病院及び歯科診療所における歯科医師の勤務実態等調査を実施。

- ・ 歯科医師調査票 （約28,500名）  
    病院歯科※1:約6,500名を調査対象とすることを目標として配布  
    歯科診療所※2:約22,000名を調査対象とすることを目標として配布
- ・ 歯科医療施設調査票 （18,632施設）  
    病院歯科:1,632施設に配布  
    歯科診療所:17,000施設に配布

※1 病院歯科については、歯学部を有する医育機関を除き全数調査を実施。

    歯学部を有する医育機関については抽出調査を実施。

※2 歯科診療所については、全国の保険医療機関を対象に抽出調査を実施。

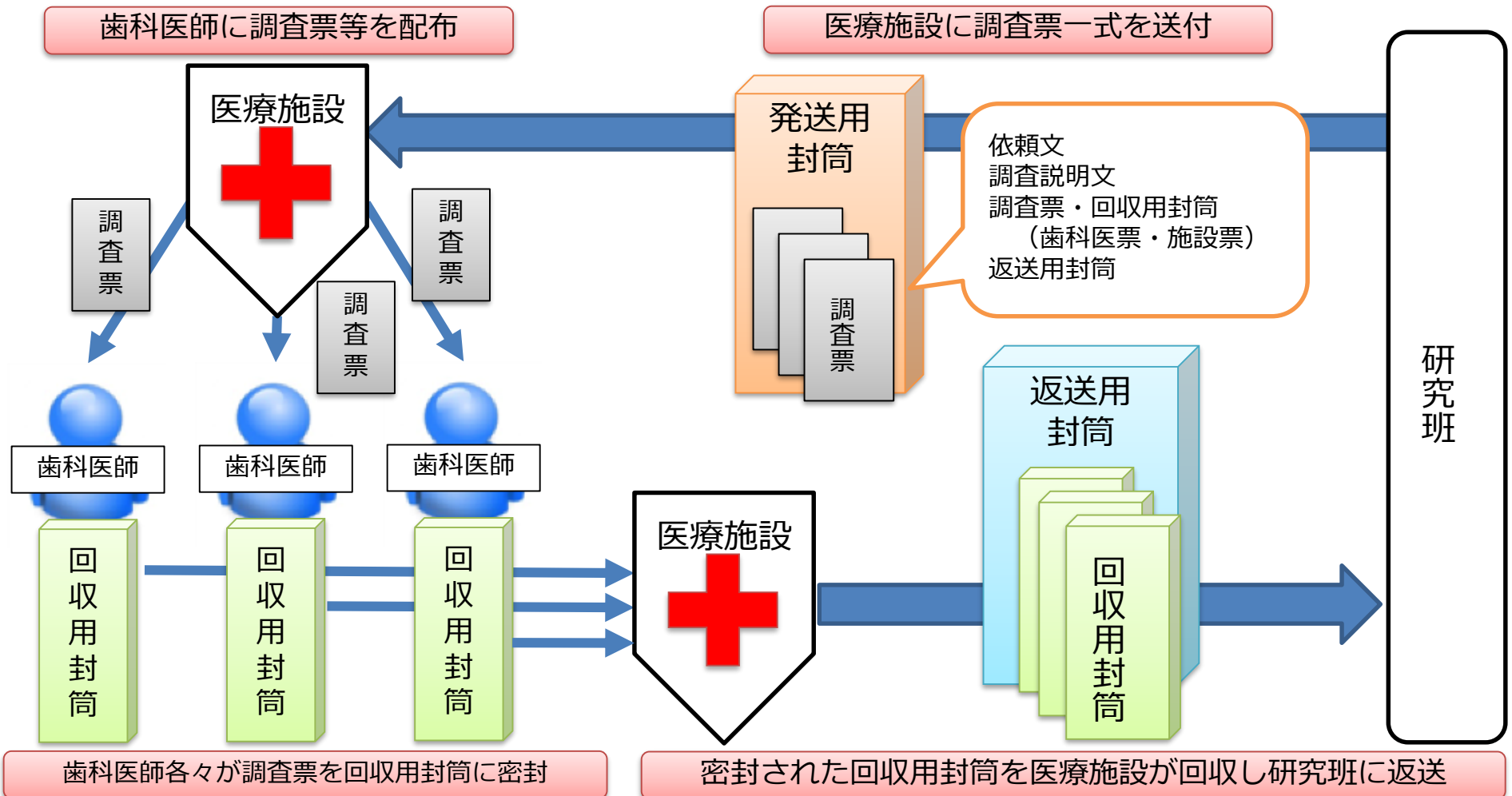
※歯学部を有する医育機関を除き、北海道並びに岡山県倉敷市真備町を除く。

## 調査対象日

平成30年11月15日（木曜日）～21日（水曜日）の1週間

# 配布・回収方法

- 医療施設に調査票と回収用封筒と送付用封筒を送付
- 歯科医師のプライバシーを保護するため、調査票と同時に個人用の回収用封筒を配布
- 調査票を歯科医師が回収用封筒に密封し、医療施設が回収
- 医療施設より一括して調査票を研究班に返送



## 回収状況（平成31年1月25日時点）

### ○歯科医療施設調査票

	発送数	回収数	割合
病院	1,632	480	29.4%
歯科診療所	17,000	3,779	22.2%

(参考)

### ○歯科医師調査票

- ・ 病院歯科 2,914通回収
- ・ 歯科診療所 5,367通回収